

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローにおける随意契約の実績 (平成31年度 第1/四半期分)

受入事業部 受入推進課

単位:円

No.	契約の名称	契約日	契約金額	契約の相手方の名称	契約の相手方の住所	地方自治法 施行令(根拠)	契約の相手方の選定理由	その他
1	外国人観光客受入体制強化事業 多言語情報発信・受入サポート事業「Be.okinawa多言語コンタクトセンター運営業務」	平成31年4月1日	34,992,000	NECネットエスアイ(株)	沖縄県那覇市久茂地2-2-2	第167条の2 第1項第2号	プロポーザル方式により広く公募を行ったところ3社から応募があった。それぞれの企画提案内容等を選定委員会において審査したところ、当該事業者の提案は要求仕様に則り、事業展開のバランスに優れていることから選定委員会において最も評価が高かったため、契約の相手方として選定した。	
2	平成31年度沖縄観光受入対策事業 観光の日・観光月間推進事業	令和元年5月31日	9,818,181	(株)アドスタッフ博報堂	沖縄県那覇市久茂地3丁目17番5号 美栄橋ビル	第167条の2 第1項第2号	プロポーザル方式により広く公募を行ったところ4社から応募があった。それぞれの企画提案内容等を選定委員会において審査したところ、当該事業者は本事業の目的を適切に理解しており、他社より踏み込んだ企画提案ができていたこと、また過去の実績等から確実な事業実施が見込める点で評価が高く、総合得点でも最も高得点であったため、契約の相手方として選定した。	
3	Peach機内全便配布観光情報誌内広告掲載業務	令和元年6月5日	1,026,000	(株)デイリー・インフォメーション	沖縄県那覇市前島3-25-1とまりん1階 102号	第167条の2 第1項第2号	当該事業者は、Peach機内配布観光情報誌広告の制作・掲載を扱う唯一の広告代理店である。また、Peach Aviation(株)は台湾-那覇路線のシェア25%を保持しているとともに、バニラエアとの統合によって平成31年度6月28日から1便増便も予定していた。同様に、香港-那覇路線や成田-那覇路線も1~2便増便となり、あわせて那覇-バンコク路線は、唯一の直行便を運航する。上記路線を含むPeach Aviation(株)の各那覇就航路線の座席数は、3か月で291,600席となる。当該媒体は、沖縄路線を対象とした沖縄観光特集号となっており、さらに客室乗務員が291,600席の乗客一人ひとりへ手配り配布する機内誌のため、乗客の購読率の高さや降機後に機内誌を持ち帰り、沖縄旅行滞在中に活用する割合の高さが見込めることから、当該事業者と契約を締結した。	
4	平成31年度 観光人材育成・確保促進事業(語学人材確保の支援)「海外における沖縄観光就職相談会開催業務」	令和元年6月28日	16,573,225	フォースバレー・コンシェルジュ(株)	東京都千代田区麹町5-3第7秋山ビルディング6F	第167条の2 第1項第2号	プロポーザル方式により広く公募を行ったところ2社から応募があった。企画提案内容等を選定委員会において審査したところ、当該事業者は本事業の目的を的確に理解しており、事業の受託にあたり確実な事業実施が見込め、受託しうるに足る実績を持っていることから、契約の相手方として選定した。	